



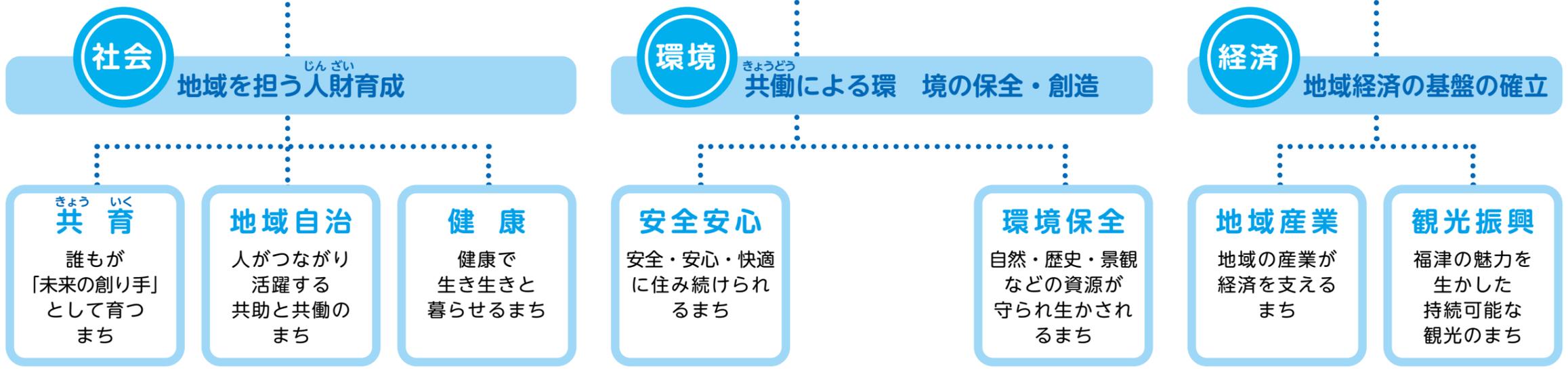
福津市まちづくり基本構想の体系図

基本構想では、将来像を実現するため、市の現状や課題を踏まえたうえで、社会、環境、経済の3つを軸とした7つのテーマ別目標像を定めています。



市の将来像 人も自然も未来につながるまち、福津。

テーマ別目標像



▲さまざまな人が参加した未来会議

策定時には市民の皆さんとの対話を最も重視し、ふくつ未来会議と題したワークショップや話し合いを行い、未来にあるべきまちの姿について意見交換をしました。また、アンケート調査やパブ

の課題も現われてきました。もちろん、私たちが暮らしていく上で大切な環境も継続して保全、創造していかなければなりません。これらのさまざまな課題に対応していく、持続可能なまちづくりを進めるために、新たに基本構想を策定することになりました。

基本構想の策定過程

また、市はSDGsの達成に向けて優れた提案をしたとして、内閣府から「SDGs未来都市」に認定されています。SDGsの取り組みについては、広報ふくつ令和元年9月号をご覧ください。

基本構想で定めた、市の目指す将来像は「人も自然も未来につながるまち、福津。」です。この将来像には、人や自然をはじめとする地域資源も、経済も、生き生きと持続的に循環する市の姿を未来へと継承する意味が込められています。この将来像の根底には国連が呼びかけ、2030年を目標年として17のゴールに全世界で取り組むことを決めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の考え方があります。そのため、市の将来像はSDGsの目標年である2030年に合わせた未来のイメージを現しています。

市の将来像と根底にある考え方
基本構想で定めた、市の目指す将来像は「人も自然も未来につながるまち、福津。」です。この将来像には、人や自然をはじめとする地域資源も、経済も、生き生きと持続的に循環する市の姿を未来へと継承する意味が込められています。この将来像の根底には国連が呼びかけ、2030年を目標年として17のゴールに全世界で取り組むことを決めた「持続可能な開発目標(SDGs)」の考え方があります。そのため、市の将来像はSDGsの目標年である2030年に合わせた未来のイメージを現しています。

基本構想の策定の背景
市では平成19年3月に福津市総合計画を策定し、市の目指す将来像を「人を、明日を、誇るまち。福津。」と定め、人口減少、財政危機、地方行政構造変革を3つの課題とし

まちづくり基本構想とは
「福津市まちづくり基本構想(以下、基本構想)」とは、市のこれからのあるべき姿とそれを実現するための考え方や方向を示すものです。航海で例えると目的地を示す羅針盤のようなもので、市が目指す将来像と、それを実現するために取り組むことを示しています。

て掲げました。そして、これらの課題に対応していくため、さまざまな取り組みを行いました。また、市民や企業、学校などが行政と情報や課題を共有し、それぞれが役割分担をしながら、対等な立場で一緒に汗して行動するという「共働によるまちづくり」を目指してきました。その間、快適性や利便性の向上も進め、減少傾向だった人口は平成24年頃から増加へと転じ、6万人を突破しました。

問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎43・8121

まちづくりの最も基本的な方針を示す「まちづくり基本構想」が、昨年の市議会9月定例会で可決されました。今号では、福津市が持続可能な未来へ向かっていくための考え方を紹介します。

福津市まちづくり基本構想を策定

私たちの未来に向かうための羅針盤